年間授業計画　新様式例

東京都立葛西工業高等学校 令和６年度　　教科 工業科　　科目 建築計画

教　科：　工業科　　科　目：　建築計画　　単位数：　2　単位

対象学年組：第　2 学年　4 組～　5 組

教科担当者：（ 4組：佐藤裕 ）　（ 5組：佐藤裕 ）

使用教科書：（　実教出版「建築計画」　）

教科　工業科　　の目標：

【 知　識　及　び　技　能 】　建築の分野に必要である知識・技能・技術・態度を習得する。

【思考力、判断力、表現力等】　QCDSを思考・判断し、課題・（作品）に取り組む。

【学びに向かう力、人間性等】　PDCAを粘り強く実践し、学習改善につなげる。

科目　建築計画　　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
建築物の計画に関する基礎的な知識を習得するとともに、建築に関わる諸事項を合理的で的確に遂行する技術や技能を身に付ける。	建築物の計画に関する課題を発見し、設計や施工するときに生じる問題点や課題の解決を目指して、自ら思考・判断し、創意工夫する能力を身につけるとともに、その成果を適切に表現することを考えている。	建築物の計画を実現するため、建築物の計画に関する基礎的な知識や技能の習得に主体的に取り組み、建築の発展に主体的に取り組む態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	1．建築計画の概要	・日本や他国の建築計画の歴史、地球環境と建築計画のかかわりについて説明し、建築に対する興味・関心を高める。	【知識・技能】建築物の特徴や計画を文章や図でまとめて理解することができる。 【思考・判断・表現】建築物の計画の流れについて思考・判断できる能力を身につけている。 【主体的に学習に取り組む態度】建築に関する専門的な用語について、実例に関連付けながら学習に取り組もうとする。	○	○	○	8
	2．住宅の計画 ①計画の意義 ②計画の進め方 ③全体計画 ④各部の計画	・独立住宅の敷地・配置や平面などを計画するにあたっての留意点を示し、具体的に計画できるように理解させる。 ・独立住宅における各室の形状、形態、適正な規模などについて理解させるとともに、様々な条件に対応した各室の計画の方法について理解させる。 ・住宅地を参考にし、木造の戸建て住宅を事例にして、建築計画の順序やエスキスの表現方法などについて理解させる。	【知識・技能】建築物の特徴や計画を文章や図でまとめて理解することができる。 【思考・判断・表現】建築物の計画の流れについて思考・判断できる能力を身につけている。 【主体的に学習に取り組む態度】建築に関する専門的な用語について、実例に関連付けながら学習に取り組もうとする。	○	○	○	18
2学期	3．各種建築物の計画 集合住宅の計画 4．都市と地域の計画 ①都市と都市計画 ②都市計画制度と都市計画法 ③建築と地域の計画 ④地域の計画とまちづくり	・集合住宅の目的・種類、使用方法について理解するとともに、敷地・配置・平面などの各計画にあたっての都市計画のかかわりなどの留意事項についても理解させる。 ・住戸を構成する各室の形式・形態、適正な規模などを示し、集合住宅の計画の方法について理解させる。 ・都市における都市計画の目的、都市計画のしくみや都市計画法に基づく建築計画の進め方について理解させる。 ・地域の特性を生かしたまちづくりの方法について理解させる。	【知識・技能】建築物の特徴や計画を文章や図でまとめて理解することができる。 【思考・判断・表現】建築物の計画の流れについて思考・判断できる能力を身につけている。 【主体的に学習に取り組む態度】建築に関する専門的な用語について、実例に関連付けながら学習に取り組もうとする。	○	○	○	28
3学期	5．建築物の移り変わり ①日本の建築 ②西洋の建築 ③近代の建築 ④現代の建築	・日本の原始から近世までの建築物について、都市の移り変わりや都市がつくり出されてきた過程から理解させる。 ・西洋の古代から近世までの代表的な建築物の移り変わりやそれぞれの時代の特徴的な建築様式について理解させる。 ・産業革命以後の近代建築や現代建築に与えた影響について理解させる。	【知識・技能】建築物の特徴や計画を文章や図でまとめて理解することができる。 【思考・判断・表現】建築物の計画の流れについて思考・判断できる能力を身につけている。 【主体的に学習に取り組む態度】建築に関する専門的な用語について、実例に関連付けながら学習に取り組もうとする。	○	○	○	16 合計 70